

ひと・緑・風 明日につなぐ NO.14
tomorrow



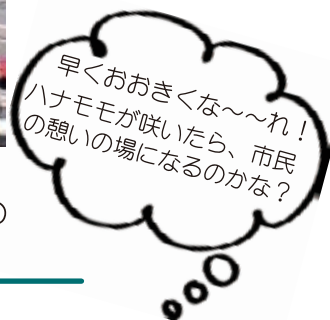
高齢者福祉施設「どんぐりの森」北側斜面
第1回ハナモモ育樹祭、大成功!

みんなで植えたよ、ハナモモを!

高森台にハナモモを植えて桃源郷にしたいと、花咲か基金を集め、支援をしていただける造園屋さんを探し、長野県阿智村からのハナモモの植樹リレーのために何度も月川温泉の花咲か爺の渋谷氏を訪ね、育樹祭のための準備をし、ようやく迎えたこの日でした。

お天気に恵まれた2月4日の朝10時。早くも植樹の希望者が来場。当初は50人もおいでいただければ、と思っていたところ、植樹者は100人以上にもなりました。親子連れはもちろん、若いカップルの姿もあり、ニュータウンの未来に明るさを感じました。

苗は春日井市をはじめ造園屋さんや県内の有志の方からご寄付を頂き、阿智村からの20本のリレー苗木を含め、合計60本をみんなで植樹しました。



①



9時。名古屋の「にこにこ造園」さんの全面協力で、クレーン付きの3tトラックが横付けされ、堆肥などが降ろされ、植樹の準備が始まりました。

③



10時半。セレモニーでは、春日井市からも苗木10本がプレゼントされました。伊藤市長から苗木を受け取る寺島代表。

⑤



「にこにこ造園」の松野社長の指導で苗木を植える伊藤市長は満面の笑み。植樹後のあいさつでは「このような市民主導の活動を市も応援したいと思い、29年度から新しい制度を作ります」と心強い言葉が聞けました。「市民協働」の一つの形になりそうです。

②



10時になると早くも長靴姿の植樹参加者が受付に到着。参加者にはおもてなしの心を込めて作った「手作りげんこつ飴」をプレゼント。ところが予想以上に参加者が多く、途中でげんこつ飴が無くなってしまふほどの盛況ぶり。申し訳ないやら、嬉しいやら。

④



苗木を提供してくださった方々。右から、春日井市長、長野県阿智村の「花桃の里作り委員会」代理の内山さん、「にこにこ造園」松野社長、尾張旭市民前田さん、そして刈谷市民篠原さん代理の5名。これからはみんなで育てることに全力を注ぎます。だからこそ**育樹祭**。

高森台県有地を行政と協働することでハナモモの咲く桃源郷にしたいと考えてきた私たちです。市と手を携え「コミュニティガーデン」という手法を取りつつ、ニュータウンの新しいまちづくりをすれば、きっと、ニュータウンを明日につなぐことができると思っています。

ここをスタートとして今後も県有地の周囲にハナモモの苗を植え続ければ、10年後には高蔵寺ニュータウンのブランドとして誇れる場所になるのではと思っています。